

令和5年度病虫害発生予察情報 注意報第1号

令和5年2月6日
岩手県病虫害防除所

育苗期に細菌病が多発する恐れがあります！

育苗期間中の温度管理と水管理に細心の注意を払いましょう！

1. 対象作物、病虫害：イネ、細菌病類（もみ枯細菌病、苗立枯細菌病）
2. 対象地域：県下全域
3. 発生時期：育苗期
4. 発生量：多
5. 予報の根拠

- (1) 令和4年は、籾の感受性が高いとされる出穂・開花期に降雨があったため、細菌病の感染に好適な気象条件であった。また、令和4年は出穂期間が長かったため、感染期間が長引いたと考えられる（図1）。
- (2) 籾における細菌病類の検出率は8.8%（平年5.2%）で、過去に注意報を発表した平成30年産種子（8.2%）並に検出率が高い（表1）。
- (3) 3か月予報では、4月（育苗期間）の気温は平年並か高い予報（令和5年1月24日、仙台管区气象台発表）。

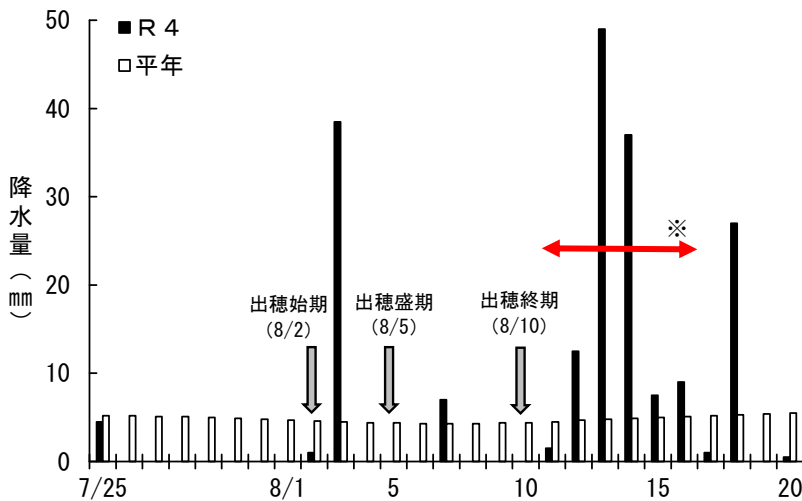


図1 令和4年出穂期間中の降雨量（北上）
※ 出穂は北上川下流（農作物技術情報 第6号より）
※ ←→：特に8月第3半旬に連続した降雨があった。

表1 細菌病類の検出状況調査結果
（過去5年）

年産	検出率 (%)	調査点数 (点)
H29	2.1	95
30	8.2	98
R1	18.4	103
2	4.9	103
3	5.0	100
4	8.8	91
平年	5.2	106

※ 平年：H24～R3

※ H30、R1 は翌年2月に注意報を発表



写真 細菌病の症状

葉鞘が水浸状に褐変し、葉鞘の途中から次葉が抽出したり、ねじれて出るなどの出葉異常が認められる。葉齢が2葉期以降に進んだ苗では、新葉の葉鞘や葉身の基部が白色から黄白色に脱色し、その後だいたい褐変枯死する。葉を手で引くと容易に抜け、その基部は褐変、腐敗している。

6. 防除対策

(1) 耕種的防除

- ・育苗期間中（特に催芽・出芽時、緑化～硬化初期）の高温は発生を助長するので、適正な温度管理に努める。
- ・プール育苗は、細菌病類の発生を抑制するのに効果的である。
- ・その他、育苗期の留意点は以下のとおり。

<育苗期の留意点>

項目		対策
種子予措	塩水選	○充実した種子を確保するため、可能なものは実施。ただし、消毒済種子の場合は、薬剤流出の危険があるため、実施しない。
	浸種	○12～15℃とし、10℃以下にならないようにする。消毒済み種子の場合は、水換えは種子に付着した薬剤が落ちないように注意して静かに行う。
	催芽	○30℃を厳守する。過度の加温や長時間の催芽は発病を助長するので絶対に行わない。 ○健全種子への感染拡大を防ぐため、水を強制的に循環させる装置を用いた催芽（循環式ハト胸催芽器等）は行わない。樽などを容器内に設置して種籾を入れ、催芽水を直接循環させないよう工夫すること。
育苗期	播種	○所定の播種量を厳守する。
	出芽	○ <u>出芽器の庫内温度は30℃を厳守する</u> 。過度の加温は発病を助長するので、絶対に行わない。
	ハウス温度 (慣行・プール育苗共通)	○ <u>緑化期の温度管理（日中20～25℃）を徹底すること</u> 。 ○緑化後は、育苗ハウス及びビニールハウスの開閉をこまめに行い、 <u>育苗温度は25℃を超えないよう管理</u> する。
	かん水 (慣行育苗)	○過かん水は発病を助長するので絶対しない。
	プール育苗の水管理	○緑化終了後2～3日以内に入水しないと細菌病の抑制効果が期待できないので注意する（生育揃いを考慮して水深は培土表面より下とする）。 ○2葉目が出始めたなら十分な湛水深を確保する（水深は培土表面より上）。

(2) 薬剤防除

岩手県農作物病害虫・雑草防除指針に掲載している有効な薬剤で種子消毒を行うこと。

なお、インチアニル粒剤（箱施用剤）の播種前又は播種時（覆土前）処理を併せて実施すると防除効果が高まる。

7. 留意事項

(1) 平成24、30、令和元年は細菌病類の検出率が高かったが、注意報（平成25年2月、31年2月、令和2年2月）の発表を受けて各地で温度管理の徹底など対策が行われたため、翌年の育苗期は、細菌病類の発生はいずれも平年並～低かった（図2）。

(2) 育苗期における管理の注意点については、今後発行される農作物技術情報（第1号、2号）も併せて参照すること。

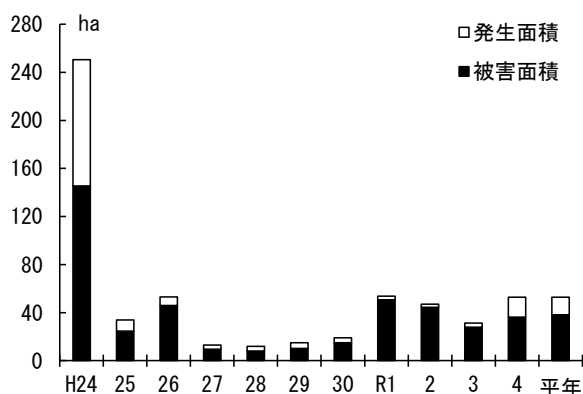


図2 細菌病類の発生面積の推移（市町村防除実績報告）
※ 平年：H24～R3

【利用上の注意】

本資料は、令和5年1月25日現在の農薬登録情報に基づいて作成しています。

- ・ 農薬は、使用前に必ずラベルを確認し、使用者が責任を持って使用しましょう。
- ・ 農薬使用の際は（1）**使用基準の遵守** （2）**飛散防止** （3）**防除実績の記帳**を徹底しましょう。

【情報のお問い合わせは病害虫防除所まで】 TEL 0197(68)4427 FAX 0197(68)4316

☆この情報は、いわてアグリベンチャーネットでもご覧いただけます。

<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/boujo/index.html>

